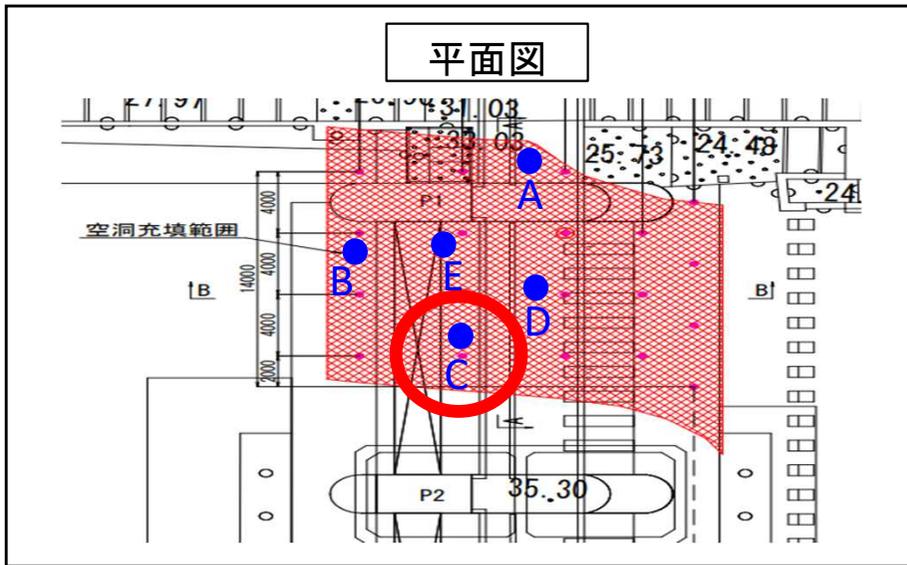


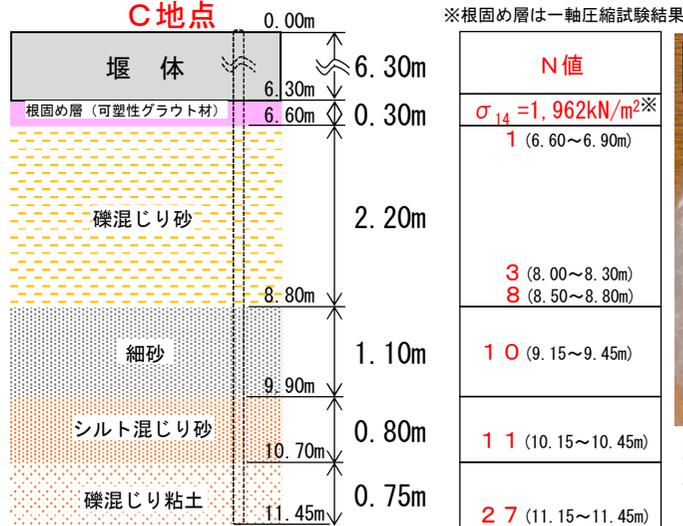
# 4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

## P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [C地点] (9月21日)

- 根固め工（可塑性グラウト）とその下の堆積土砂の支持力確認のため、**C地点**のチェックボーリングを実施。
- 洪水吐き堰体コンクリート直下に**0.3m厚の根固め層**、その下に**2.20m厚のN値 1～8の礫混じり砂**、更にその下に**1.10m厚のN値 10の細砂**を確認。
- なお、礫混じり砂層のサンプリングを試みたが、試験可能な容量を採取することができなかった。
- 根固め工の支持力については、コア採取による一軸圧縮試験の結果、 $\sigma_{14} = 1,962 \text{ kN/m}^2$ の強度を確認。  
(必要支持力：300kN/m<sup>2</sup>以上)



チェックボーリング状況図



深度6.60～8.80m区間において、試験可能な容量を採取できなかった。礫径5mm程度。



礫混じり砂層の下に1.10m (深度8.80m～9.90m) 厚のN値10の細砂を確認。指圧で崩れる程度。



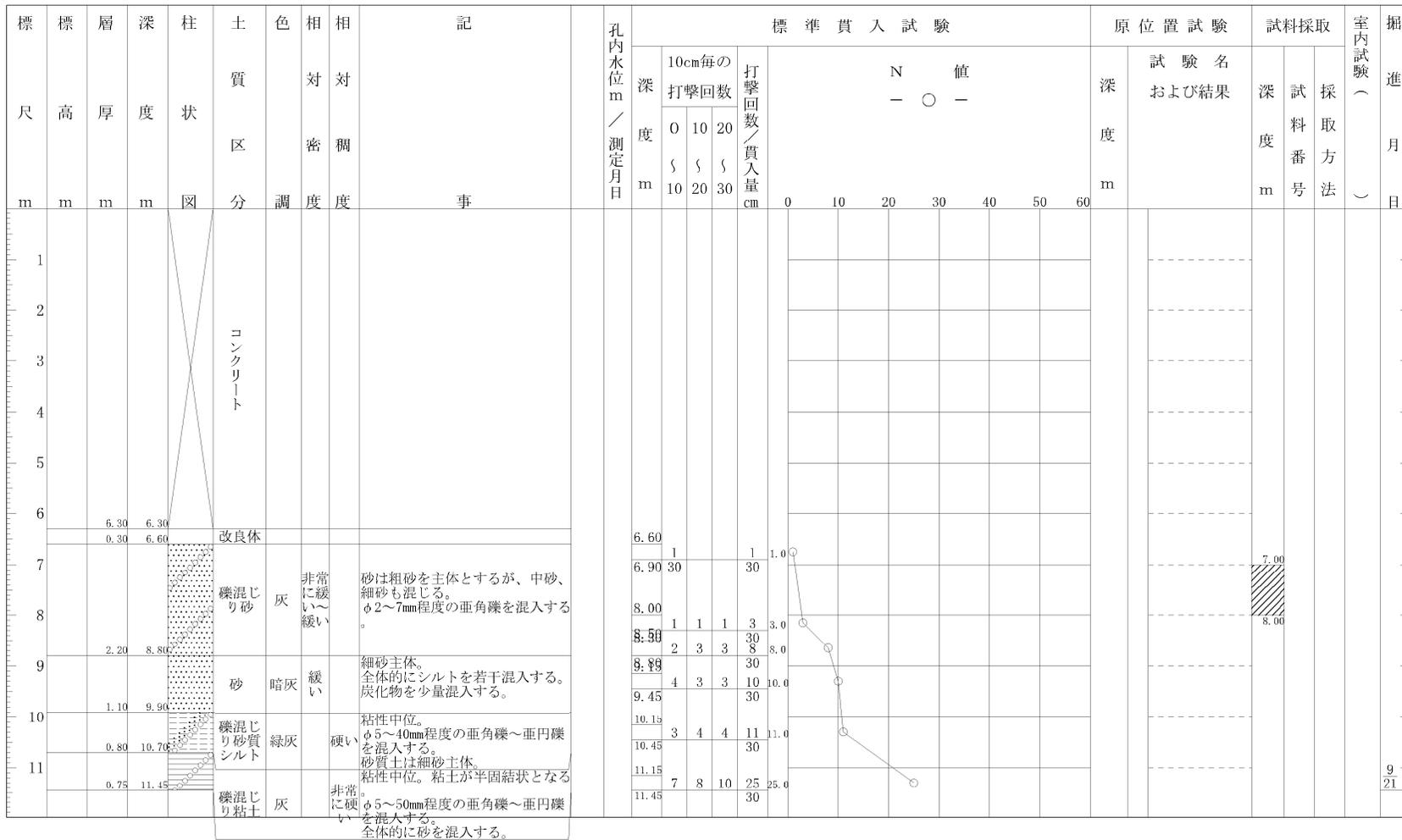
細砂層の下に0.80m (深度9.90～10.70m) のシルト混じり砂を確認。含水率が高く、締まっている。

# 4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [C地点] (9月21日)

## ボーリング柱状図

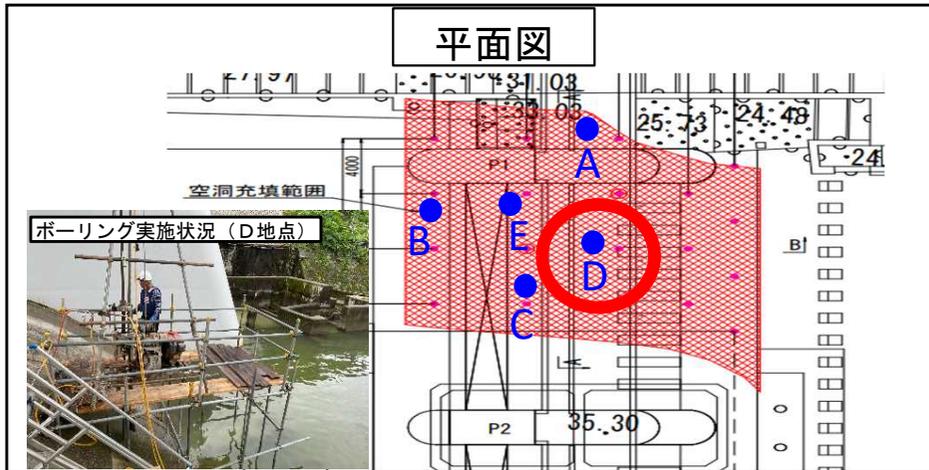
ボーリング名	No. C		調査位置	愛知県豊田市室町地先			北緯					
発注機関					調査期間	令和4年9月21日～4年9月21日		東経				
調査業者名				主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者					
孔口標高		角	180° 上	90°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	11.45m	度	180° 下	0°	向				エンジン		ポンプ	



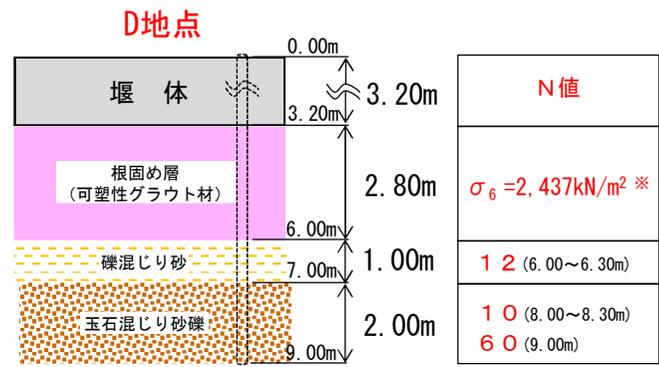
# 4-3 P1堰柱下及び根固め工チェックボーリング調査結果【③、④】

## P1～P2堰柱付近根固め工チェックボーリング調査 [D地点] (9月19日)

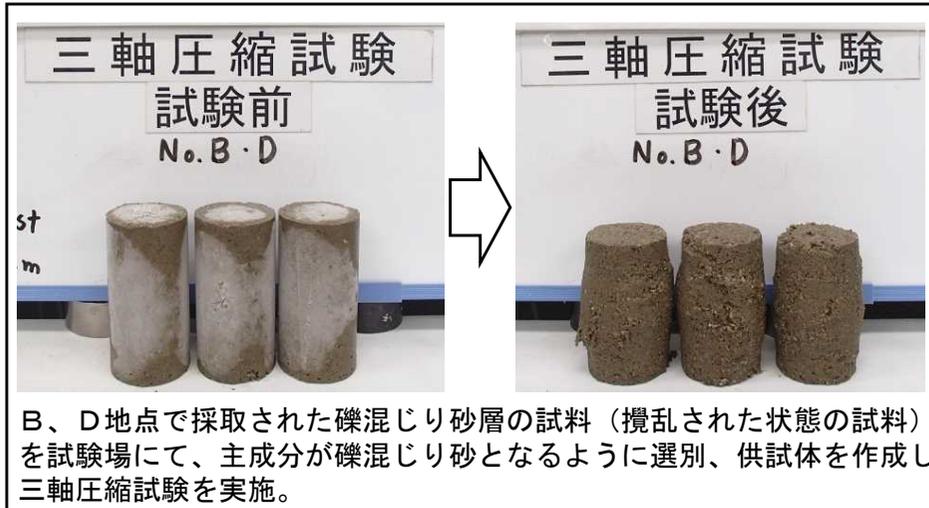
- 根固め工（可塑性グラウト）とその下の堆積土砂の支持力確認のため、**D地点**のチェックボーリングを実施。
- 洪水吐き堰体コンクリート直下に**2.80m厚の根固め層**、その下に**1.00m厚のN値12の礫混じり砂**、更にその下に**2.00m厚のN値10～60の玉石混じり砂礫**を確認。
- 礫混じり砂層の三軸圧縮試験の結果、**粘着力(C)=80kN/m<sup>2</sup>**、**内部摩擦角(φ)=41.2°**を確認。
- 根固め工の支持力については、コア採取による一軸圧縮試験の結果、**σ<sub>6</sub>=2,437kN/m<sup>2</sup>**の強度を確認。  
(必要支持力：300kN/m<sup>2</sup>以上)



チェックボーリング状況図



※根固め層は一軸圧縮試験結果  
深度6.50～7.50m区間において、試料を採取。採取できた試料は10cm程度。



根固め層の下に1.00m（深度6.00m～7.00m）厚のN値12の礫混じり砂を確認。



礫混じり砂層の下に2.00m（深度7.00～9.00m）の玉石混じり砂礫を確認。